

一般社団法人 宮崎青年会議所 2023年度 組織グループ基本方針	
常任理事 柿塚 健太郎	
設置背景	新型コロナウイルス感染拡大以後、諸会議におけるデジタル化が推進された反面、会員同士の関係性の希薄化、設営の事前準備等における認識の甘さが生じつつあり、組織としての価値観の共有、認識を今一度固める必要があります。また、組織の継続的な発展のためには、透明性の高い財政審査とコンプライアンスの遵守、時代の変化に応じた諸規定の改訂、メンバーが活用しやすい事務局の運営など柔軟な検討が必要です。
設置目的	諸会議においてこれまでのような厳格な空気感は維持しつつ、状況に応じた臨機応変な対策を立てながら、時代に即した会議運営を行ってまいります。また、メンバーがJCI日本の基準と同等のコンプライアンス基準を理解できるようLOM内に浸透させてまいります。
運動計画 (KPIも記載)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総会、例会及び諸会議の設営、運営 2. 予算案及び決算書の精査、コンプライアンスチェック 3. 全国大会5カ年検証事業の構築 4. 災害対策会議（災害協定対応） 5. 国内・海外アワード申請 6. LOM褒賞事業「AWARD MIYAZAKI 2023」の構築 7. 1月例会メインアワー「新年挨拶会」の構築 8. 11月例会メインアワー「家族晚餐会」の構築 9. 福岡ソフトバンクホークス交流事業の実施 10. ASPACへの参加促進（ジャカルタ） 11. 海外姉妹JCとの交流事業
運動手法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 期限や規則を遵守した設営、運営を行うとともに、ニューノーマルに配慮した誰もが安心して参加できる諸会議となるよう取り組みます。 2. 毎月審査会議及び監事会を開催し、各委員会・局が行う事業の予算及び決算を精査し、会計の透明性と効果の最大化、法令違反や権利侵害などコンプライアンスに違反した内容がないか、議案の厳格な審査並びに指導、支援を行います。 3. 全国大会宮崎大会の開催と今日に至るまでの成果を振り返り、関わられた方々への感謝の意を伝えるとともに今後の青年会議所の発展へと繋げる5カ年検証事業を実施します。 4. 災害発生やメンバーの新型コロナ感染等の時、対策本部を設置しメンバーへ最新情報発信など行います。 5. JCが主催する国内外の褒賞事業に対し、JCI宮崎が行ったより地域貢献に寄与した事業を申請します。 6. JCの事業に参画し突出した功績、影響を与えたメンバー、委員会・局の表彰を行い、次年度以降の活動にも意欲を高めることのできる褒賞事業を実施します。 7. 2023年度の事業・運動を発信し、新様式に則った新しい形で開催します。 8. メンバーのご家族に参加いただき、日ごろの感謝を伝えるとともに、青年会議所活動にご理解を得、メンバーの支援はもちろんのこと、今後の活動にも協力をさせていただけるような機会を提供します。 9. 関係諸団体、福岡ソフトバンクホークスと協力し、福岡ソフトバンクホークス交流事業を実施します。 10. JCI ASPACジャカルタ大会への参加促進を行います。 11. JCIマリーナ、JCIポートとの交流事業を実施します。
パートナー	公益社団法人日本青年会議所 公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会 公益社団法人日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会 宮崎JCシニアクラブ まつり宮崎実行委員会 MRT宮崎放送 宮崎市 福岡ソフトバンクホークス 宮崎市内教育施設 社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会 JCI Marina Singapore JCI The Port
NEXT5	<ol style="list-style-type: none"> 1誰も取り残されない地域の実現 1-6 ニューノーマルへの適応 1-7 ジェンダー平等の実現 1-8 JCブランドの確立と認知度向上 2労働生産性を向上させる地域の実現 2-7 会議の効率化 2-8 企業・学校・団体との連携 3持続可能で安全な地域の実現 3-7 防災ネットワークの強化